長与南地区コミュニティ
まちづくり計画書

長崎県長与町

長与南地区コミュニティ運営協議会

はじめに

本コミュニティは、長与南小学校区内の 10 自治会により「長与南地区コミュニティ運営協議会」として、平成 15 年7月 19 日に設立されました。

この地域は、大型団地の開発につづき県立大学等の建設により、人口の増加が著しく、人間関係や地域社会に対する関心は薄れ、連帯感が失われることが懸念されています。

このような中、この地域や長与町が成熟した町として、今後一層発展するために、そして住民が主役の、住民による「まちづくり」を推進するために「長与南地区コミュニティ運営協議会」は設立以来さまざまな活動を行ってきました。

設立より、11 年を迎えた本年度は、設立宣言の原点に立ち、住民が主役の、住民参加による、コミュニティづくりを積極的に進めるため、この計画策定に取り組みました。

特色ある「長与南地区コミュニティ運営協議会」として、地域の問題を共有し、その問題解決に努めるなど、一つの自治会を越えた、個人と各種団体との協働の力で楽しい、元気なコミュニティづくりに会員の力を結集させるよう取り組みます。

平成 26 年3月
長与南地区コミュニティ運営協議会
会長　　柳原　邦弘

コミュニティまちづくり計画について

現代社会においては、地域を取り巻く環境や住民のニーズ・価値観が多様化かつ複雑になる一方で、人と人とのふれあいや近所づきあいなどは年々希薄になりつつあります。さらに、多発する災害や環境問題、少子高齢化、子どもたちの健全な育成などといったさまざまな地域の課題に対応していくために、地域住民みんなによる、地域のための「まちづくり」を進めていくことが必要です。

そこで、地域の「まちづくり」活動を維持継続して進めていくためにも、住民みずからが「まちづくり計画」を策定し、それをもとに協力しあって解決に向けた活動に取り組んでいくことが大切で、その中核組織として地区コミュニティの重要性がますます高くなってきています。

今回、地域における長所・短所の洗い出しからその解決に向けての取り組み、その実施時期、役割分担などをまとめ、これからの地域全体の羅針盤として、「コミュニティまちづくり計画」を策定しています。

≪目　次≫

はじめに

1　長与南地区の現状と課題 1

2　長与南地区がめざす将来像 8

3　分野別の基本方針 9

4　主な取り組みと実施時期・役割分担 11

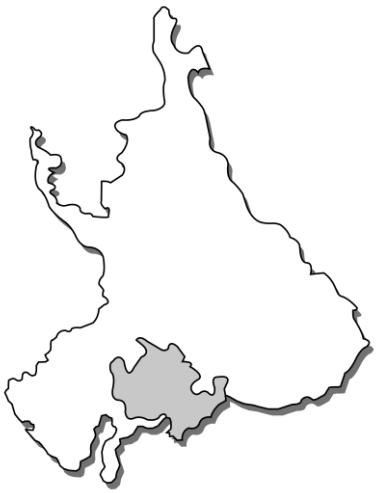
5　地区内の特に重要なプロジェクトの行動計画 20

6　計画の推進に向けて 22

7　資料 23

1　長与南地区の現状と課題

長与南地区の概況



■地理・地域

　長与町の南に位置し、吉無田郷の一部と高田郷の一部、まなび野で構成されています。

　サニータウン、まなび野、南陽台、青葉台など、住宅地が中心で、コミュニティの中で最も面積が小さいものの、人口は最も多く、長崎市のベッドタウンとして栄えています。（また、長崎県の地域コミュニティ再生事業（H23～25）モデル地区に選定されています。）

■主な地域資源

交通	主な公共施設
鉄道　ＪＲ九州長崎本線　長与駅 バス　長崎バス 　　長崎県営バス 道路　県道 33 号 　　県道 113 号 　　県道 45 号	長与駅コミュニティホール 長与南交流センター 長与南児童館
	主なスポーツ施設
	サニータウン多目的コート
産業・特産品	公園・名所・旧跡・寺社仏閣・観光地
	摩利支尊天王神社 丘の上公園 どんぐり公園 あじさい公園
教育施設	まつり・イベント
長崎県立大学シーボルト校 長与第二中学校 長与南小学校 めぐみ保育園 あじさい保育園	吉無田の獅子舞 摩利支尊天王神社の吉無田くんち

■地域内の主な取り組み

・長与南コミュニティまつり

■コミュニティ

名称	設立年月日	事務局
長与南地区コミュニティ運営協議会	平成 15 年 7 月 19 日	長与南交流センター

長与南地区の現況と課題

■人口は町の四分の一を占める、今後は高齢化対策が必要に

平成 25 年 3 月末の長与南地区の人口は、10,946 人、世帯数は 3,970 世帯で、長与町全体に占める割合はそれぞれ 25.8%、24.2%、1 世帯当たりの平均世帯人員は約 2.8 人となっています。

自治会数は 10 自治会で、最も人口が多い池山自治会（1,560 人）から、最も少ないサニータウン東自治会（199 人）まで、規模や環境が様々でコミュニティとしても地域の現状に合わせた取り組みが望まれています。

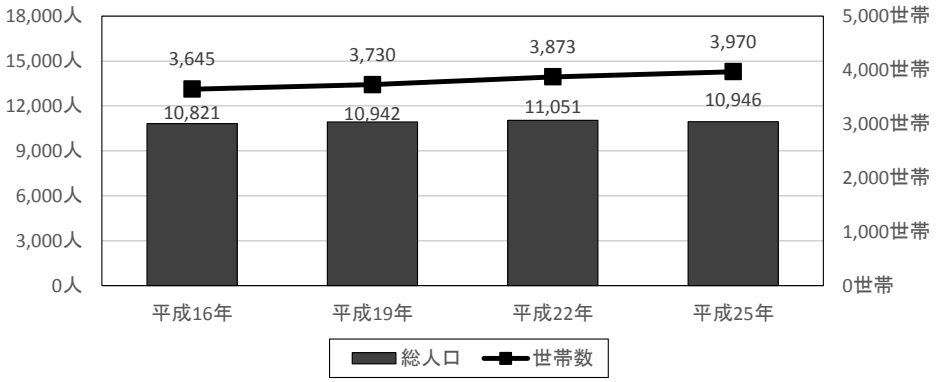
また、高齢化率（13.7%）は町全体を下回り、逆に 15 歳未満の人口率（16.9%）は町全体を上回るなど、少子高齢化は長与町の中でも比較的進んでいない地区です。しかし、地区内における一人暮らしの高齢者等が年々増加していることや、アンケート調査で「高齢化に対応した福祉活動」が必要だと回答した人が多いことから、今後、高齢者への対応も求められています。

自治会別人口・世帯の状況

自治会名	男	女	計	世帯	高齢化率	15歳未満人口率	自治会加入世帯数	自治会加入率
長与町全体	**20,242**	**22,155**	**42,397**	**16,397**	**20.3%**	**15.7%**	**12,173**	**74.2%**
池山	740	820	1,560	597	15.6%	19.4%	295	49.4%
井手本	329	345	674	254	13.5%	19.1%	175	68.9%
辻後	491	518	1,009	398	20.7%	15.8%	266	66.8%
青葉台	516	592	1,108	430	32.0%	13.4%	365	84.9%
南陽台	670	743	1,413	531	15.3%	9.2%	465	87.6%
サニータウン南	450	527	977	339	13.4%	11.6%	291	85.8%
サニータウン北	655	702	1,357	445	6.1%	18.0%	384	86.3%
サニータウン東	92	107	199	64	7.5%	24.6%	60	93.8%
まなび野西	598	668	1,266	472	5.9%	17.5%	272	57.6%
まなび野東	672	711	1,383	440	6.3%	25.8%	349	79.3%
長与南地区合計	**5,213**	**5,733**	**10,946**	**3,970**	**13.7%**	**16.9%**	**2,922**	**73.6%**
			25.8%	**17.8%**				

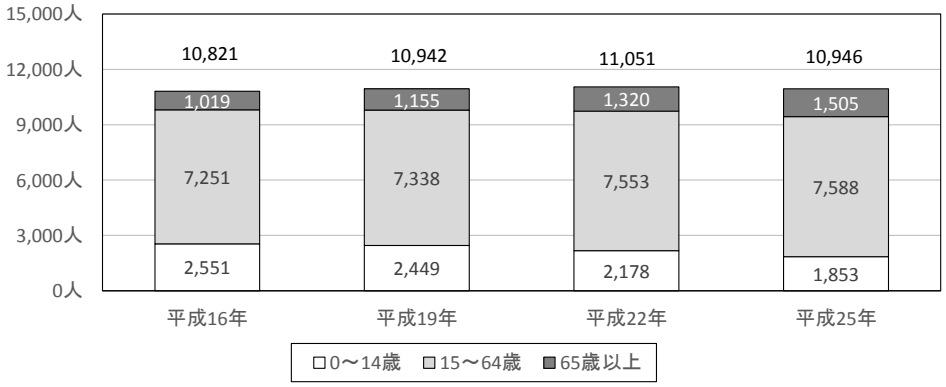
住民基本台帳：平成25年3月31日

人口・世帯数の推移



資料：住民基本台帳（各年３月末）

３区分別人口構成比の推移



資料：住民基本台帳（各年３月末）

■自治会加入率は 73.6%、さらなる加入が望まれる

長与町で最も人口が多い南地区ですが、自治会加入率は 73.6%と、わずかに町全体の 74.2%を下回っています。コミュニティ内をみても、49.4%（池山）から 93.8%（サニータウン東）と大きく差があり、将来に向けて未加入者への積極的な呼びかけが必要です。また、アンケート調査においても、地区コミュニティへの参加について「参加したことがない」の割合が全体より高くなっていることに加え、「よく参加する」の割合が低くなっている点も、自治会、コミュニティ活動への理解不足を示しています。さらに行事等への参加者の高齢化や固定化、自治会役員の後継者問題なども指摘されており、魅力ある行事の開催やリーダーの育成、役員の負担軽減などが望まれます。

ただ、今後継続拡大していきたい活動として、大学生のコミュニティへの参加や、小学校における自治会活動の授業などが挙げられます。

■住みやすい地区だが、快適な住環境に向けてさらなる取り組みが望まれる

アンケート調査によると、地区内の９割以上が、「暮らしやすい」、「住環境が良い」と回答しています。地区の全体のイメージは？との問いにも「落ち着きがあり、安心して暮らせる地区」と感じている人が多く、全体的に住みやすい地区といえます。しかし、同調査において、地区の課題、問題点についての問いには「道路等が高齢者に配慮されていない」が高い値を示したり、坂が多いなど、高齢者等に厳しい側面もうかがわせています。

また、「地区の防犯、交通安全の活動」が必要であるとの調査結果や、さらに交通量の増加による安全への不安や交通マナーの向上を望む意見もみられ、今後の改善が求められています。

近年の異常気象による災害等への準備対応も必要です。防災マップの作成や、避難所や避難経路の周知徹底を図るなど、いざという時に自分たちの地区を災害から守るという意識の醸成が望まれます。

ゴミに関する問題も多く指摘されています。分別が不十分であるということや、高齢者のゴミ出し支援に関することなどが挙げられます。いずれも地域で協力して快適な住環境をつくっていくことが求められています。

■学習環境に恵まれているが、子ども会への加入増加が望まれる

南地区は文教地区として認知されています。それは、近くに小中学校や高校さらに県立大学シーボルト校が揃っており学習環境に恵まれているという面も大きいのですが、各学校と地域の連携や大学の講座の開催といったソフト面の充実も理由に挙げられます。しかし、利用する人が一部にとどまっているとの指摘もあり、もっと広くＰＲして地域住民の方に理解し活用してもらうことが重要です。

また、近年のライフスタイルの変化や共働きの家庭が多くなっていることから、子ども会への未加入者が増加していることも課題の一つです。家庭、学校、地域が一体となって子どもたちを育てていくことが望まれます。

ワークショップで出た主な意見

地域づくり部会

伸ばしていきたいところ（地域の長所）	解決していきたいところ（地域の課題）
・自治会内の人のつながりが深い。 ・地域活動の協力者が多い。 ・12 月のもちつき大会の出席が非常に良い。 ・隣近所で助け合う環境がある。 ・ほとんどの住民の方が親切で協力的。人柄も良く、この地区に住んで良かったと思う。 ・行事には参加してないが、批判もしない。 ・話せば協力はしてくれる。	・住民のコミュニティへの帰属意識が低い。 ・新しい団地は、若い人が多く自治会役員になってもらうのが難しい。 ・アパート等は、自治会未加入世帯が多い。 ・行事を計画しても、出席者はいつも同じ人ばかり。 ・地域の行事に参加するのは、高齢者のみ。 ・共働きが多いので、小学生は学童に行っている→子ども会に入らない。 ・世代間の交流を考えよう。 ・子どもたちがいないので、子どもの声がなくさみしい。 ・住民同士の関係が希薄。

健康福祉部会

伸ばしていきたいところ（地域の長所）	解決していきたいところ（地域の課題）
・何事も前向きで考えるようにしている。 ・無料の講座がいろいろあるので使っている。	・高齢者世帯が多くなる。 ・高齢者の見守り能力をアップする必要がある。 ・（高齢者）独居者と、近所とのつき合いが希薄。 ・独居老人への対応。 ・町の健康に関係する行事へ参加する人が少ない。

環境整備部会

伸ばしていきたいところ（地域の長所）	解決していきたいところ（地域の課題）
・スーパー等が多くて利用しやすい。 ・新しい住宅地が多く、住みやすい。 ・地域の方の草刈りボランティア。 ・花いっぱい運動で花壇がきれい。 ・自治会の活動が良いので、ゴミステーションがいつもきれい。 ・交通の便が良い。 ・毎年、危険個所などの確認がなされている。 ・概ね、自然災害に強い地域である。 ・子ども達の登下校の際、見守っていただく方がいらっしゃってありがたい。 ・公園が多い。 ・地域全体として緑が多く、野鳥の声が聞こえる。	・坂が多いので高齢者が生活しにくい。 ・身近に集える場所がほしい。 ・ゴミ分別のマナーが良くない。 ・資源回収の月 1 回は少ない。 ・バスの便が少なく町内の移動が困難。 ・交通のマナーが悪い。 ・路上駐車が多い。 ・交通量が多く危険。（通学時間） ・団地内を車がスピードを出しすぎる。 ・歩道の不備箇所。 ・街灯が少なく、防犯上危ない。 ・ゆっくり散策できる公園がない。 ・ペットの飼い主のマナーの低下。

青少年育成部会

伸ばしていきたいところ（地域の長所）	解決していきたいところ（地域の課題）
・子ども会を通じて学年関係なく友達になれる。 ・子ども会同士のつながりを持たせてくれる。町子連のイベントは良いと思う。 ・小・中学校とも年一回地区 PTA を開催し、意見交換を行い学校と地区が連携をとっている。 ・子どもたちがよくあいさつしてくれる。 ・近くに、小中高、大学まであり、学習環境に恵まれている。 ・学園都市である。	・子ども会、自治会への加入が少ない。 ・子ども会の人数が減少している。（子どもはいるのに） ・特定の方しか関われない。（子ども会活動等への父親の参加） ・子ども会、入会している家庭とはつながる機会があるが、入会していない家庭とはほとんどつながりがない。 ・あいさつをしない小学生が多い。

2　長与南地区がめざす将来像

長与南地区の将来像を以下に示します。この目標案は、私たちのふるさと南地区にいつまでも安心して快適に住み続けられるまちを作っていこうという決意を中心にして、「潤い」というキーワードを加えて生活の広がりを感じさせ、また最初に「みんな笑顔」を入れることで、より映像的にイメージできるようにしています。副題も、地域住民同士におけるつながりの「絆」、行動の「共生・共働」を組み合わせて、地域が一体になることを願っています。

将来像

みんな笑顔　快適に安心して暮らせる潤いのある南地区

～絆を深めて共生・共働の地域づくり～

3　分野別の基本方針

将来像を達成するために、以下に示す４つの部会ごとに「目指す姿と基本方針」を掲げ実現に向かって行動します。

地域づくり部会	目指す姿
	自治会活動の活性化
基本方針	私たちの最も身近な組織である自治会をもっと活性化していきます。さまざまな活動を通じてつながりを深め、住民同士がお互いに助け合い、支え合う地域を目指します。そのために、公民館や南交流センターの有効活用に努めます。また、コミュニティとしては、「南コミュニティまつり」の一層の充実を図ります。

健康福祉部会	目指す姿
	地域の高齢者の意見を吸い上げて、 健康増進に寄与できる部会をめざす！
基本方針	住み慣れた地域で高齢者の方が、安心して快適な生活が送れる地域を目指します。そのため、アンケートを取るなど高齢者の意見を聞くとともに積極的に社会と関わりの場を提供し、健康で生きがいを持って暮らせる地域づくりに取り組みます。 また、地域住民の健康増進のため、健診率を上げ、各種公開講座の利用を促進していきます。

環境整備部会	目指す姿
	緑と花のある環境と住みやすさが共生した地域づくり
基本方針	快適な生活環境のために、現在取り組んでいる「花いっぱい運動」や「ごみ分別マナー向上」をさらに充実させ、住みやすい南地区を目指していきます。また、地域の安全のために防災訓練の実施など、防犯・防災に取り組んでいきます。

青少年育成部会	目指す姿
	夢いっぱい　笑顔いっぱい　挨拶いっぱい
基本方針	子育ては家庭や学校だけで行うものではありません。地域全体で見守り、ふれあい、育てていくものです。その第一歩が子ども会への加入であると考えています。子ども会の行事等に参加しやすくするなどの取り組みで加入率の増加を図ります。また、地域と学校が連携することで交流の輪を広げ、地域の安全を確保していきます。地域活動を通じてできるだけ多くの人が集い、子どもの「いっぱい」を応援していきます。

4　主な取り組みと実施時期・役割分担

４つの部会別の基本方針に沿って、今後取り組むべき取り組みとその時期、役割分担を以下のように整理します。

〇施策時期について

短期	1～2 年で取り組む
中期	3～5 年で取り組む
長期	6～10 年で取り組む

〇役割分担について

地域	地区内で取り組むこと
協働	地区と行政が共同で取り組むこと
行政	行政が取り組むこと

〇体系のイメージ

	部会	目指す姿	取り組む分野
将来像　みんな笑顔　快適に安心して暮らせる潤いのある南地区 ～絆を深めて共生・共働の地域づくり～	地域づくり部会	自治会活動の活性化	地域のつながりのあるまちづくり
			公民館、南交流センターの有効活用
	健康福祉部会	地域の高齢者の意見を吸い上げて、健康増進に寄与できる部会をめざす！	講座の充実
			高齢者の福祉
	環境整備部会	緑と花のある環境と住みやすさが共生した地域づくり	生活環境
			防犯・防災
	青少年育成部会	夢いっぱい　笑顔いっぱい 挨拶いっぱい	子ども会
			地域と学校との 連携・交流

地域づくり部会

目指す姿　**自治会活動の活性化**

現在、地区で取り組んでいること

・自治会の行事、敬老会や町民体育祭等、子ども会（子育て世代の保護者など）に積極的に参加を促している。

今後、取り組むこと

施策	実施時期			役割分担		
	短期 1−2 年	中期 3−5 年	長期 6-10 年	地域	協働	行政
地域のつながりのあるまちづくり						
□子育て世代の地域活動への参加						
■自治会活動に親子で参加してもらうため、行事等工夫する	━			○		
■子育て世代の行事への参加をもっと増やす	━				○	
■高齢者と子育て世代とで、昔遊び等の交流会を開く	━			○		
■子育て世代の自治会活動への参加を促進する	━				○	
■地域内から標語を募集して、親しまれる自治会を目指す	━			○		
■コミュニティ活動への参加を促進する	━			○		

今後、取り組むこと

施策	実施時期			役割分担		
	短期 1−2 年	中期 3−5 年	長期 6-10 年	地域	協働	行政
公民館、南交流センターの有効活用						
■南交流センターは、もっと利用できることをＰＲする	━━				○	
■地域の健康診断等に積極的に利用する	━━				○	
■サロンとしての利用	━━			○		

※網かけの施策は重要プロジェクト　※破線は検討、準備期間
実線は実施期間

健康福祉部会

目指す姿　　**地域の高齢者の意見を吸い上げて、**
健康増進に寄与できる部会をめざす！

現在、地区で取り組んでいること

- ヘルシーウォーキング
- グラウンド・ゴルフ
- ヘルシー料理教室

今後、取り組むこと

施策	実施時期			役割分担		
	短期 1−2 年	中期 3−5 年	長期 6−10 年	地域	協働	行政
講座の充実						
■料理教室など、自分たちで講座を開催するために、地域内の人材を有効に活用する	▪▪▪▪▪	━━━			○	
■講座への参加を呼びかける	━━━				○	
■ヘルシー料理講習の開催と、そのレシピの配布	━━━				○	
■地域内の健診率を上げる	▪▪▪▪▪	━━━			○	

今後、取り組むこと

施策	実施時期			役割分担		
	短期 1−2 年	中期 3−5 年	長期 6-10 年	地域	協働	行政
■南交流センターにおける、健康器具の充実を図る	▪▪▪▪	━━				○
■行事に参加しやすいように、交通の便を良くする	▪▪▪▪	▪▪▪▪	━━			○
■ウォーキングマップ(南地区)の作成	▪▪▪▪	━━			○	
■ポスター、チラシで健康意識を高める	━━				○	
■運動を取り入れた行事をやる	━━				○	
高齢者の福祉						
■地域内の高齢者を把握し、一人暮らしや夫婦のみ世帯の孤立化を防ぐ	▪▪▪▪	━━			○	
■老人会を充実させ、おしゃべりしてストレス発散する	━━			○		
■移動手段の確保	▪▪▪▪	━━			○	
■高齢者に対する行政のサービスを住民に周知する	━━				○	

※網かけの施策は重要プロジェクト　　※破線は検討、準備期間

実線は実施期間

環境整備部会

目指す姿　**緑と花のある環境と住みやすさが共生した地域づくり**

現在、地区で取り組んでいること

- 花いっぱい運動（南交流センターの広場と各地域）
- ゴミ分別マナー向上キャンペーン実施（標語募集と掲示）
- 「子ども 110 番の家」のマップ作成
- 南地区避難場所のマップ作成

今後、取り組むこと

施策	実施時期			役割分担		
	短期 1−2 年	中期 3−5 年	長期 6-10 年	地域	協働	行政
生活環境						
□ゴミ問題						
■ゴミ分別区分の見直し	━				○	
■自治会未加入者に、ゴミ出しカレンダーを自治会で配布	━				○	
■ゴミステーションを簡易型から固定型に変える	┅	┅	━			○
■迷惑防止条例の施行	┅	━				○
□高齢者対策						
■移動出前市場の開設	┅	━			○	

今後、取り組むこと

施策	実施時期			役割分担		
	短期 1−2 年	中期 3−5 年	長期 6-10 年	地域	協働	行政
□公園の整備						
■運動のできる公園と散策いこいの公園を分けてつくる	┅	┅	━			○
防犯・防災						
■避難場所、避難ルートの見直し	━				○	
■地域の危険箇所の確認と住民の方への周知を図る	━				○	
■地域のおける要援護者の把握	━				○	
■地震警報の訓練（防災訓練の実施）	━				○	
■街灯の照度を上げるＬＥＤに変える	┅	┅	━			○
■火災報知器設置率を高める	━				○	

※網かけの施策は重要プロジェクト　　※破線は検討、準備期間
実線は実施期間

青少年育成部会

目指す姿　**子どもは宝　親と住民が共有する**

現在、地区で取り組んでいること

・町子連の球技大会、子どもの集い	・南コミュニティまつりに参加
・自転車安全教室	・危険箇所の点検
・自治会の祭りの交流	・見守りボランティアの充実
・西海市中山地区との田植え、稲刈り	・敬老会
・あいさつ運動	

今後、取り組むこと

施策	実施時期			役割分担		
	短期 1−2 年	中期 3−5 年	長期 6-10 年	地域	協働	行政
子ども会						
■子ども全員（対象者）子ども会の加入を目指す	┅	━	━		○	
■共働き夫婦も参加しやすい役員のしくみを検討・改善	━			○		
■行事の内容を検討して参加しやすくする	━			○		
■自治会が何をしているかを子どもにもっと知ってもらう	━				○	

今後、取り組むこと

施策	実施時期			役割分担		
	短期 1−2 年	中期 3−5 年	長期 6-10 年	地域	協働	行政
地域と学校との連携・交流						
■子どもとお年寄りの交流できる場	━━				○	
■幼、保、小、中、高、大の連携	━━				○	
■明るく挨拶のできる子どもの育成	━━			○		
■病児医療保育の充実とＰＲ	┅┅	━━			○	
■高校生の交流の場の開設	━━				○	

※網かけの施策は重要プロジェクト　　※破線は検討、準備期間
実線は実施期間

5　地区内の特に重要なプロジェクトの行動計画

前項の取り組むべき施策の中で、特に部会内で重要であると思う項目や優先順位が最も高いと思う取り組み案を１つ選び、具体的な取り組みを示します。

地域づくり部会重要プロジェクト**「自治会活動に親子で参加してもらうため、行事等工夫する」**
●活動内容 ・自治会の行事（夏まつり、敬老会、もちつき等）、長与町の行事、町民体育祭や町民ソフトボール大会の案内や回覧を今まで以上に工夫して、自治会の会員がより参加しやすくなり、また参加すると楽しく人とのつながりができることをアピールしていく。 ・そのためには自治会の役員だけでなく、あまり参加した事がない会員にも意見を聞いて積極的に取り入れていく。 ・一度参加すると次に参加しやすくなるので、自治会長は、班長会議等でより詳しく行事について説明し、参加促進をする。こうして参加する人とのつながりを深めていく。

健康福祉部会重要プロジェクト**「運動を取り入れた行事をやる」**
●活動内容 ・ヘルシーウォーキングとグラウンド･ゴルフは現在取り組んでいるので、参加率を上げる工夫をする。（自治会ごとに声かけをお願いする） ・交流センターを利用しているサークルに対して部会員から呼びかけをする。 ・ペタンクなど室内競技を取り入れる。親子でできる競技も良い。

環境整備部会重要プロジェクト①**「ゴミステーションを簡易型から固定型に変える」** ②**「街灯の照度を上げるＬＥＤに変える」**
●活動内容 ・ゴミステーションを簡易型から固定型に変えていく。 ・防犯対策として、街灯をＬＥＤに変えて照度と寿命を上げる。 【今後の活動】 ① 行政に理解を得ていく。（コミュニティとして陳情する形をとる） ② モデル地区で実施し投資効果を出す。 ③ 順次地域を拡げるべく予算化してもらう。

青少年育成部会重要プロジェクト**「子ども全員（対象者）子ども会の加入を目指す」**
●活動内容 ・自治会加入とともに、子ども会加入の義務づけへの働きかけ。（サニータウン北、サニータウン南を参考に） ・加入促進のために、コミュニティ内各自治会での意思の統一。（会費、経費を含めて） ・まずは、自治会長間で議論してほしい。 ・加入者以外の子どもが試しに参加できる行事の設定。（子ども会を知ってもらう）

6　計画の推進に向けて

以上のように、『みんな笑顔　快適に安心して暮らせる潤いのある南地区』を実現し、長与南地区コミュニティをさらに発展させていく上で、取り組むべきことは多くあります。しかし、現状では一部の人に負担が偏ったり、活動する人が限られたりと、これではどうしても継続的な地域づくりは難しくなってきます。従って、今後は以下のように取り組んでいきます。

■今回策定した「長与南地区コミュニティまちづくり計画書」を、地域全体の計画とするために、全住民への周知に取り組み、理解を図ります。

■計画を推進していくためには、地域づくりのための仕組みづくりが必要です。コミュニティを中心に地域住民、自治会、行政、ＮＰＯなどが参加、参画、連携、協働することにより、計画の一層の充実を図っていきます。

■計画の推進にあたっては、何に取り組み、予算はどう配分するのかなどを、民主的に透明性をもって決定していきます。

■計画の推進にあたっては、人材の適材適所、地域内の人的資源、特に若い力や女性の力の掘り起しに努めます。

■計画は進捗状況を確認し、必要に応じて見直しを行っていくことが大切です。
見直しが必要になった際には、コミュニティ内で話し合う場を設け、行政を交えながら計画を推進していきます。

7　資料

■コミュニティまちづくり計画策定の経緯

開催日	内容
平成 24 年 12 月3日～12 月 25 日	コミュニティまちづくり計画アンケート調査の実施
平成 25 年　　7 月5日	第１回　住民ワークショップ ・地区の長所と課題の整理
9月6日	第２回　住民ワークショップ ・地区の将来像と部会の目指す姿の検討
11 月1日	第３回　住民ワークショップ ・取り組み案及び役割分担と実施時期の検討（1）
11 月 19 日	第４回　住民ワークショップ ・取り組み案及び役割分担と実施時期の検討（2）
平成 26 年　　1 月 22 日	第５回　住民ワークショップ ・重点プロジェクト及び計画書のまとめ

長与南地区コミュニティまちづくり計画書

平成 26 年 3 月発行

長崎県長与町

長与南地区コミュニティ運営協議会